

● 日本から投稿される
スローロリスの動画

自分のペットの写真をブログに掲載したり、動画をYouTubeに投稿する人はたくさんいます。そのペットが愛玩用に改良されたいない野生動物の場合、映像は多くの問題を提起しています。YouTubeに投稿されたスローロリスの動画を分析した論文が2016年2月に発表されました⁽⁹⁾。

それによると、調査をした100本の動画に122頭のスローロリスが撮影されており、その内訳は成獣が55%、亜成獣23%、幼獣22%でした。そして動画はスローロリスが生息している中国(15%)、タイ(15%)、ベトナム(7%)のほか、生息していない日本(28%)、ロシア(12%)から投稿されていました。

● スローロリスにとっての悪条件

100本の動画のすべてでスローロリスにとって悪い条件が1つ以上あてはまり、31%の動画には5つの悪い条件すべてが当てはまっています。その悪い条件とは次の5つです。

- ① 人との接触：野生生物は一般に人体への強制接触によって重度のストレスを感じます。スローロリスには触れ、撫でている映像が57%ありました。
- ② 昼光：スローロリスは夜行性です。昼光や強い人工の光にさらされることは、ホルモンに異常をもたらす健康に悪いと考えられています。動画の87%では昼光や強い人工の光にさらされていました。

【参考】

Is Tickling Torture? Assessing Welfare towards Slow Lorises (*Nycticebus spp.*) within Web 2.0 Videos Nekaris K.A.L., Musing L., Vazquez A.G., Donati G
http://www.karger.com/Article/FullText/444231

③ ストレスや病気の兆候：スローロリスは上腕部からの分泌液と唾液を混ぜた毒を、身を守るために使います。腕を上げるのは、その毒を見せつける防御の動作と考えられています。うずくまったり、フリズしたり、同じ行動を繰り返したりするのはストレスを感じている時の動作です。発声や攻撃などの動作も見られました。

また野生のスローロリスは樹脂や蜜、昆虫などを食べています。飼育下では白米など本来の食性とかけ離れたものを食べさせられ、肥満、糖尿病、歯の疾患の原因になっています。動画には噛みつき対策のために歯を抜かれ炎症を起こしている個体、他のスローロリスにかまれた傷のある個体も見受けられました。このようなストレスや病気の兆候が見られた動画が53%ありました。

④ 不自然な環境条件：野生のスローロリスは樹上で生活し、2~20haを移動します。しかしペットのスローロリスは植物のない、狭い環境で飼育されています。動画の91%では不自然な環境で飼育されていました。

⑤ 同種のスローロリスからの隔離：霊長類は社会性のある動物です。例えばスローロリスは柳の歯のような前歯で仲間との関係をつくる毛づくろいをします。1頭で飼育されることはストレスや社会的な行動に支障を来します。また幼獣の頃に親と引き離されることは、社会性を奪うこととなります。調

査した動画の77%が仲間とのつながりがなく飼育されていました。

● 虐待動画に「いいね!」をすると

スローロリスがストレスを受けていることを知らずに、ソーシャルメディアでの拡散や「いいね!」などのよい評価をすると、悪条件下での飼育を自然な姿だという誤解を招いたり、ソーシャルメディア会社が動画の削除に応じなくなる可能性があります。また動画の人気は人々に「飼いたい」と思わせ、グローバルペットの違法取引を促してしまいます。

そのため野生動物のくらしを知り、ペットとして飼うことの問題や違法取引の問題への理解を広げることが重要になっています。



Slow lorises raise their arms above their heads in defense. They will occasionally gnaw, bite or roar when stressed or sick. They drink on many occasions and drink anything when stressed. They are nocturnal, bright light hurts their eyes.
Loris videos are illegal and cruel.
www.wcscf.org
End Exotic Pet Trade